

[第1回]
ひょうご障害者芸術文化活動支援センター
あり方検討会資料

令和7年9月1日



目次

1	検討会スケジュール及び検討委員	・ ・ ・ ・ ・	3
2	本県支援センターの設置状況	・ ・ ・ ・ ・	4
3	〃 事業内容	・ ・ ・ ・ ・	5
4	[参考] 障害者による文化芸術活動の 推進に関する法律及び基本的な計画	・ ・ ・ ・ ・	15

検討会スケジュール及び検討委員

R 7 検討会スケジュール（予定）

R 7 検討会スケジュール（予定）	
8月	<p>検討会設置</p> <p>・委員数6名</p>
9月	<p>第1回検討会 日程：9月1日</p> <p>【議題】 ・支援センターに求められる障害者芸術文化支援の内容等</p> <p>【論点】 ・現在の事業実施状況と推進にあたっての課題と把握 ・今後求められる事業の検討</p> <p>アウトプット：本県支援センターが行う事業内容</p>
	<p>第2回検討会 日程：9月下旬</p> <p>【議題】 ・障害者芸術文化支援を実現するセンターの体制等</p> <p>【論点】 ・第1回検討会で検討した、支援センターが今後行う事業の確認 ・事業の執行にあたっての、支援センターの役割、体制の検討</p> <p>アウトプット：本県支援センターが行う事業内容、実施体制</p>
10月	<p>第3回検討会 日程：10月上旬</p> <p>【議題】 ・検討会としての提言とりまとめ</p> <p>【論点】 ・第1回、第2回検討会の意見調整及びとりまとめ</p>

検討委員

氏名	所属・経歴等
服部 正 委員	甲南大学文学部人間科学科 教授
沼田 里衣 委員	大阪公立大学文学研究科 准教授
岡部 太郎 委員	近畿ブロック広域センター [たんぽぽの家] 代表
山崎 慎也 委員	神戸市垂水区 [こづかやまLaboratory] 管理者
文 委員	神戸市長田区 [NPO法人 DANCE BOX 事務局長]
笹谷 太郎 委員	「第1回・第11回こころのアート展」や 「神戸垂水アートプロジェクト」入選作家

※順不同です。

事務局

野田 誠一	福祉部次長
岩切 玄太郎	福祉部ユニバーサル推進課長
西田 勇	福祉部ユニバーサル推進課 社会参加支援班長
宮崎 大地	福祉部ユニバーサル推進課 主任
呉田 知子	ひょうご障害者芸術文化活動支援センター 支援員

本県支援センターの設置状況

障害者芸術文化活動支援センター

- 障害者芸術文化活動に対する身近な支援組織として、厚労省が都道府県に設置を要請(R7.8現在、全都道府県が設置)
- 本県では令和1年6月に「ひょうご障害者芸術文化活動支援センター」を設置(受託希望者なし)
- 支援センターの運営は社福、一社、公財等への団体委託が大半(行政直営は本県を含め5県)

本県支援センターの取組及び体制

① 主な取組

- 障害者芸術・文化祭の開催
→11月:舞台部門/3月:美術工芸作品公募展
- 「合理的配慮提供に係る研修」の実施
- 相談支援事業
- 作品展示・発表会の開催支援(補助金)
- 常設展示場「兵庫県障害者アートギャラリー」の運営
- ワークショップ・オンラインセミナー・シンポジウム
- 障害者芸術作品巡回展(R5~)
- ユニバーサルなアートマッチング(R6~)
- // 映画観賞会(R6~)
- // ミュージックフェア(R7~)



③ 事業体制(人員及び予算)

- 人員:R6=1.5名、R7=2.5名
※R7に限り職員1名増員
※管理職2名による事業調整のほか、イベント時等に課員の応援あり。
- 予算:11,105千円(令和7年度)



11の基本的施策

障害者文化芸術推進法に定められた鑑賞・創造・発表等の11の基本的施策について、施策間の連携を取りながら、総合的・複合的に施策を推進します。



本県支援センターの事業内容

障害者芸術「する・みる・ささえる」応援プロジェクト

1

する

作品展示・発表の支援

- 障害者芸術・文化祭の開催
(舞台部門・美術工芸作品公募展)
- 作品展示・発表会の開催支援
(イベント開催費や設営費の補助)
- 常設展示場「兵庫県障害者アートギャラリー」の運営
- 障害者芸術作品巡回展(R5～)
(芸文祭受賞作品及び各地域の福祉事業所の作品を展示)
- ユニバーサルなミュージックフェアの開催(R7～)



2

みる

鑑賞機会の拡大に向けた支援

- 障害者の観劇時における「合理的配慮提供に係る研修」の実施
(R6年度は映画鑑賞時の情報配慮についての実地研修)
- ユニバーサルな映画鑑賞会の開催
(R6～)



3

ささえる

支援人材の育成 (関係者のネットワークづくり)

- 相談支援事業
- 障害者芸術文化人材バンクによる出前講座(R4～)、ワークショップ(R5～)、オンラインセミナー、シンポジウム
- ユニバーサルなアートマッチング(R6～)



■ 県、当事者団体(身体・知的・精神)、社協、社会福祉事業団、県教委等で構成する
 実行委員会方式で障害者芸術文化祭を毎年2回開催

R7予算 1,548千円

区分	開催日(期間)	開催場所	内容
舞台部門	R7.11.16(日)	豊岡市民プラザ	R6年度は、楽器演奏等2団体と視覚障害者で声楽家の時田直也さんによる歌と楽器演奏(ピアノ) 参加者数:300人
美術工芸 作品公募展	R8.3.6(金) ~3.15(日)	兵庫県立美術館	絵画、書道、写真、工芸等 (令和6年度出展数:448点)



【舞台部門】



【公募展】



※昨年度のようにす

R7予算

774千円

■ 県立美術館内に障害者芸術作品の常設展示場を開設し運営

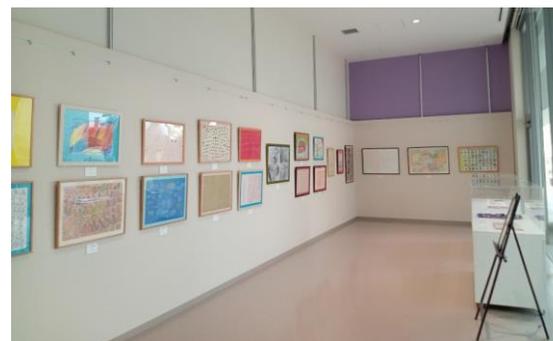
場所・規模 県立美術館王子分館原田の森ギャラリー内・40m²(旧リフレッシュスペース)

展示内容 絵画、書等10～15作品程度を3か月毎に年4団体展示

その他 入場料無料、月曜日休館

[令和7年度の展示]

期間	展示団体
4月～6月	いたみ杉の子
7月～9月	若葉福祉作業所
10月～12月	Cherish(チェリシュ)
1月～3月	工房 育夢



R7予算 1,035千円

■ 障害のある方の芸術作品をより多くの方々に知っていただく機会の創出に向け、県障害者芸術・文化祭の入賞作品や、地域の障害福祉事業所等で制作された作品の展覧会を県内9カ所で開催(令和6年度12か所)

[令和7年度の取組]

展示時期	会場
4/25~5/1	赤穂市立図書館 日本海水赤穂ライブラリー
6/25~6/30	川西市立ギャラリーかわにし
8/9	尼崎市記念公園 ベイコム 総合体育館(サブアリーナ)
10/2~10/7	朝来市役所
10/10~10/13	イーグレひめじ
10/24~10/27	イオン明石(大久保)
12/6	神戸ハーバーランド スペースシアター
12月(調整中)	木口記念会館
2/4~2/10	神戸マルイ1階スペース

施設管理者、展示団体と連携し、各地域で自主的な運営を目指す。

【川西市立ギャラリーかわにし】
障害者 芸術作品巡回展 観覧無料

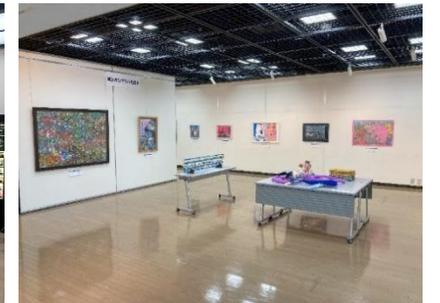



【案内地図】
川西市立ギャラリーかわにし

【川西市立ギャラリーかわにし】において、兵庫県障害者芸術・文化祭の入賞作品や、川西市在住の荒木佑仁さん、山本祥太郎さんの作品を展示します。

2025. 6/25(水)~6/30(月)
10:00~17:00 (6/30は12時まで)

【問い合わせ先】
ひょうご障害者芸術文化活動支援センター(兵庫県福祉部ユニバーサル推進課内)
TEL(078)341-7711 内線3031 FAX(078)362-9040 メール universal@pref.hyogo.lg.jp



- 障害者の音楽活動の発表の場をつくることで、障害者の自己実現や社会参加の促進を図るとともに、障害者の表現活動(音楽)の素晴らしさを伝え、**県民への障害者に対する理解と障害者の社会参画の促進を図る。**

[令和7年度の取組]

開催日	開催場所	出演団体	備考
10/13	イーグレひめじ	地元団体	なかはりまユニバーサル・デイにて開催



※写真はイメージです。

- 障害者が舞台等を観劇するなど鑑賞機会の拡大を図るため**劇場・ホール等芸術文化施設を対象に、障害者が観劇する際に必要な合理的配慮に関する研修を実施。**

R7予算

158千円

[令和7年度の取組(予定)]

開催日	開催場所	対象者	備考
令和7年12月	イオンシネマ明石	映画スタッフ	ユニバーサルな映画観賞会に合わせて合理的配慮に関する研修を実施

[これまでの取組(一部抜粋)]

■ ピッコロわくわくステージの鑑賞

劇場スタッフを対象に、県内の盲学校や視覚特別支援学校の生徒と一緒に、ピッコロ劇団「森のなかの海賊船～こそあどの森の物語～」を鑑賞し、**鑑賞サポートを体験。**

終了後、ピッコロ劇場の**鑑賞サポートの取組**について、広報専門員による講演を実施。



■ 舞台芸術鑑賞への合理的配慮に関する研修

宝塚市立宝塚文化創造館において、阪神地区公立文化施設協議会員21名に「**障害別の対応のしかた**」や**車いすや視覚障害者からの見え方、手引きの仕方**などの体験を行った。

講師:南部充央氏



R7予算

300千円

- 日常において社会への遠慮や自粛により**映画鑑賞が困難な障害児、その家族対象に開催**。映画等の鑑賞による障害児の新たな表現、創造の機会の創出や将来の進路選択等、**障害児の社会参画促進とインクルーシブな社会づくりを推進**する。

[令和7年度の取組]

開催日	開催場所	人数	上映作品
R7.10/13	イーグレひめじ	100名程度	映画ペット2
R7.12月頃	イオンシネマ明石(予定)	200名程度	未定



[これまでの取組]

開催日	開催場所	人数	上映作品
R6.7/9	109シネマズHAT神戸	200名	劇場版ドラえもん
R6.7/12	イオンシネマ三田	177名	劇場版ドラえもん
R6.10/14	やぶ市民交流広場	277名	映画すみっこぐらし



R7予算

741千円

■ 芸術文化活動を始めようとする団体や個人のため、**障害のある方や家族、支援者を対象に芸術文化活動を体感するワークショップを開催する。**

[令和7年度の取組(予定)]

日時	場所	内容
令和7年10月31日(金)	原田の森ギャラリー	ほうきのような筆、ローラーの筆、ハケの筆やクレヨン、絵の具などを使いながら、自由に字や絵を描く(講師:藤原常貴 他)



[これまでの取組(一部抜粋)]

■ 絵画と音楽の体験ワークショップ

様々な画材や道具に触れながら、**絵を描いたり楽器を演奏することの楽しさや自由な発想を大事にする視点などを体感的に学ぶ**ワークショップを開催。参加者の方からは、「**一緒に楽しむことで多くの発見があった**」「**今後のかわり方やイベント等のヒントにしたい**」などの感想をいただいた。

日時	令和5年7月15日(土)
場所	原田の森ギャラリー
内容	①絵本作家のWAKKUNと大きな紙と墨と筆を使って絵を描くワークショップ(講師:WAKKUN) ②楽器が初めての方や、障害の有無にかかわらず簡単に演奏できる楽器(ヘルマンハープ)の体験(講師:古家千恵子)
参加人数	63人



障害のある方のための
7.15 (sat) 絵画と音楽の体験ワークショップ 申込受付

様々な画材や道具に触れながら、絵を描いたり楽器を演奏することの楽しさや自由な発想を大事にする視点などを体感的に学ぶためのワークショップを開催します。

絵本作家のWAKKUNと大きな紙と墨と筆を使って絵を描くワークショップ
大きな紙と墨と筆を使って自由に絵を描く楽しさや表現の楽しさを体験できます。自由に描く楽しさや表現の楽しさを体験できます。自由に描く楽しさや表現の楽しさを体験できます。

楽器が初めての方や、障害の有無にかかわらず簡単に演奏できる楽器体験
ヘルマンハープの楽譜を聴きながら実際に演奏して体験できます。自由に演奏できる楽器です。自由に演奏できる楽器です。自由に演奏できる楽器です。

時間
①11:00-
②13:00-
③14:00-
④15:00-

定員:各回各回 10名程度(先着順)
会場:兵庫県立美術館王子分館 原田の森ギャラリー 301号室
会場:兵庫県立美術館王子分館 原田の森ギャラリー 401号室

講師:高橋花江・WAKKUN(絵本作家)
講師:古家千恵子(ヘルマンハープ)

この場では、参加費は無料です。申し込みは下記問合せ先までメールかFAXにてお申し込みください。

お問い合わせ先: 障害者芸術文化活動支援センター
〒650-0001 兵庫県神戸市中央区南長狭3丁目1-1
TEL 078-341-7711(内線2631)
FAX 078-362-9040 F4 universal@pref.hyogo.lg.jp

R7予算

741千円

- 第19回障害者芸術・文化祭「美術工芸作品公募展」オープニングにあたり、2025年大阪・関西万博に向けて障害や多様性の理解促進を図るため、表現活動の素晴らしさや今後の障害者芸術のあり方を考えるシンポジウムを開催した。

シンポジウム「表現すること、つくること、未来へつなぐこと
～障害者芸術の取組の現場から～」の開催

日時 令和6年3月1日(金)13:00～15:00

場所 兵庫県立美術館 ギャラリー棟3階 ギャラリー

講師 ①(一社)障がい者自立推進機構 セイン カミュ理事
「障害のあるアーティストの創作活動」

②(特非)100年福社会片山工房 新川 修平氏、川本 尚美氏
「片山工房が考える・障害者のある方のアート活動に必要なこと」



新川修平氏

参加者数 89名

- 障害者の芸術文化活動への理解促進や芸術作品の展示機会の拡充を図るため、**作品展示を希望する「事業者」と「福祉作業所」を繋ぐアートマッチングを推進する。**

[令和7年度の取組]

案	区分	事業者	展示場所	展示作品	展示時期	備考
1	商業施設	コープこうべ (近畿労働金庫)	・コープシーア(東灘区) 1F食品売場 2Fセントラルコート	制作者が食品売場やバックヤードを見学し、 そこで見たものや感じたことを表現した作品	10/24(金) ~10/30(木)	障害者アートデータベースに 登録のある福祉作業所を紹介
2	観光地	有馬温泉街	・各旅館、ホテル ・有馬温泉観光協会 ・有馬の工房 等	公募作品 (制作者が有馬温泉街で見た風景等の作品 を各旅館、ホテルが選定)	2/1(日)~	現在、有馬温泉街で展示中 (有馬ロイヤルホテル、太閤の湯等)
3	ハウス メーカー	スウェーデン ハウス	・県内のモデルハウス (4か所)	障害者アートデータベースの登録作品及び 各福祉作業所で制作した作品	9月(予定)	福祉作業所がモデルハウス 各棟をアートプロデュース

[これまでの取組(一部抜粋)]

- カフェモロゾフさんちか店
(令和6年10月4日~11月15日)
- 川西カリヨンの丘特別支援学校
(令和6年4月19日~7月11日)
- 神戸大丸
(令和6年4月17日~5月7日)等

【カフェモロゾフでの展示】



【商店街での展示】



【ホテル等観光施設での展示】



文部科学省・厚生労働省

文化芸術による 共生社会の実現を目指して

障害者による文化芸術活動の推進に関する法律

法律

平成30(2018)年、文化芸術活動を通じて、障害のある人の個性と能力の発揮や社会参加の促進を図ることを目指した、「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」(障害者文化芸術推進法)が成立しました。



この法律では、障害のある人による文化芸術活動の推進に関する基本理念や、実現するための基本的施策の方向性について定めています。

【計画期間】
令和5(2023)年度～
令和9(2027)年度までの
5年間

障害者による文化芸術活動の推進に関する基本的な計画

計画

文部科学省・厚生労働省は、令和5(2023)年3月、障害者文化芸術推進法に基づき、関係する施策を総合的・計画的に進めるため、第2期の「障害者による文化芸術活動の推進に関する基本的な計画」(基本計画)を定めました。

POINT

この計画は、文化芸術基本計画や障害者基本計画の基本理念や方針を踏まえて作成しています。

※1 基本計画の実現に向けた取組を進めることは、合理的配慮の提供を義務づける改正障害者差別解消法や障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法の趣旨にも合うものです。

11の基本的施策

障害者文化芸術推進法に定められた鑑賞・創造・発表等の11の基本的施策について、施策間の連携を取りながら、総合的・複合的に施策を推進します。

鑑賞の
機会の拡大



創造の
機会の拡大



作品等の発表の
機会の確保



芸術上価値が高い
作品等の評価等



権利保護の
推進



芸術上価値が高い
作品等の販売等の支援



文化芸術活動を通じた
交流の促進



相談体制の
整備等



人材の
育成等



情報の
収集等



関係者の
連携協力

